

2023年度事業報告書

I 登録販売者の職能の向上に関する事項と、薬学の発展向上に関する事項 (定款第4条第1号)

1 登録販売者の資質向上のための自己点検事業

配付済みの自己点検表に基づき、店舗の管理状況、構造設備、医薬品のリスク分類別陳列等、毒薬、劇薬、毒物、劇物の管理取扱い等について自主監視を実施した。

2 薬事講習会

会員の薬事薬学の知識向上を図るため、実施した。

日 時 2023年10月12日(木)・14日(土)・15日(日)

会 場 赤羽会館

対 象 会員及びその他

演題及び講師

「最近の薬務行政」

東京都保健医療局健康安全部 薬務課 町田 美紀 先生

「胃腸薬」

東京薬科大学薬学部 准教授 成井 浩二 先生

受講者数 67名

3 店舗販売業者講習会

都内の店舗販売業者を対象に、薬事法規、医薬品に関する知識、最新の医薬品情報等の知識を習得させ、医薬品の有効性と安全性の確保を図り、もって都民を医薬品による副作用から守ることを目的として、東京都保健医療局より受託し実施した。2022年度(令和4年度)まではコロナによる影響でWeb方式で開催していたが、本年度は都議会議事堂1階都民ホールにて開催した。

日 時 2023年12月3日(日)

午前の部 午前10時00分～午後1時00分

午後の部 午後2時00分～午後5時00分

会 場 都議会議事堂1階 都民ホール

対 象 都内の店舗販売業者 2901名

受講者数 155名(午前の部101名、午後の部54名)

演題及び講師

午前の部・午後の部共

「最近の薬務行政について」

東京都多摩立川保健所生活環境安全課薬事指導担当
主任 縄田 勇樹 先生

「濫用等のおそれのある一般用医薬品について」

東京薬科大学薬学部 一般用医薬品学教室 准教授 成井 浩二 先生

4 薬事・医事知識講習会

薬膳講習会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止

5 登録販売者外部研修会の実施

(第1回)

日 時 2023年4月14日(金)・15日(土)・16日(日)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

I 「セルフメディケーションにおける登録販売者の役割」

～OTC医薬品の購買支援～

講師：東京医科大学名誉教授 東京医科大学病院医療保険室室長
東京薬科大学客員教授 医学博士 葦沢 龍人 先生

II 「止瀉薬・整腸薬」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科 准教授
一般用医薬品学教室 成井 浩二 先生

受講人数：集合研修 347名

通信研修（送付者）DVD274名 eラーニング144名 計 418名

総計 765名

(第2回)

日 時 2023年7月20日(木)・22日(土)・23日(日)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

I 同種同効薬の使い方「抗ヒスタミン薬」

II 同種同効薬の使い方「外用アレルギー性鼻炎治療薬」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科
薬学推進センター 准教授 別生 伸太郎 先生

受講人数：集合研修 350名

通信研修（送付者）DVD271名 eラーニング122名 計 393名

総計 743名

(第3回)

日 時 2023年10月12日(木)・14日(土)・15日(日)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

I 「最近の薬務行政・リスク区分が変更になった医薬品」

講師：東京都保健医療局健康安全部 薬務課理 町田 美紀 先生

II 「胃腸薬」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科 准教授

一般用医薬品学教室 成井 浩二 先生

受講人数：集合研修 334名

通信研修(送付者) DVD 252名 eラーニング 120名 計 372名

総計 706名

(第4回)

日 時 2024年1月29日(日)・2月17日(金)、18日(土)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

I 「外用薬 ① ②」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科 准教授

一般用医薬品学教室 成井 浩二 先生

受講人数：集合研修 335名

通信研修(送付者) DVD 241名 eラーニング 104名 計 345名

総計 680名

II 薬事に関する講習会、講演会、研修会、研究会の開催(定款第4条第2号)

1 育成事業

登録販売者試験受験のための講習会

(1) 2023年度登録販売者試験対策講習会

実施期間 2023年6月17日(土)～9月2日(土)までの10回

原則毎週土曜日 午後1時～午後5時30分

場 所 Zoomにより開催

受講者数 1名

講習科目 厚生労働省手引きによる科目

講 師 協会会長 後藤 雄次

(2) 登録販売者模擬試験

実 施 日 開催せず

III 薬事情報の収集及び伝達（定款第4条第3号）

1 印刷物等の配布

- (1) 各講習会、研修会に関係印刷物を資料として配付した。
- (2) 第1類医薬品から第2類医薬品へのリスク区分の変更等を、FAX及びハガキ並びにメールにより会員に緊急連絡した。
- (3) 厚生労働省・東京都福祉保健局等からの会員への周知の徹底の連絡について、FAX及びハガキ並びにメールにより会員に緊急連絡した。

IV 薬事知識の普及啓発と薬物等の乱用防止に関する事項（定款第4条第4号）

1 薬と健康の週間の事業の実施

- 期 間 2023年10月16日（月）～22日（日）
各店舗にクスリと健康に関するリーフレット及び宣伝物を配布し、
薬の正しい使い方、保管等について広く都民に啓発活動を行った。

2 大衆薬普及キャンペーンの実施（薬と健康の週間中）

- 実施日 2023年10月17日（火） 午前11時より
実施場所 JR王子駅前
実施内容 「正しく知ろう薬の使い方、薬を正しく使う運動、麻薬、覚せい剤禍の撲滅」等のリーフレットを配布し、都民に対し薬の正しい使い方及び麻薬、覚せい剤禍の撲滅運動を行った。
配布部数 1000部
参加者 池田・落合 両副会長、新野、倉持 各理事、高柳監事

3 一般用医薬品の正しい知識や使い方に関する普及啓発イベント

リアルとWebのハイブリッド開催

- 主 催 (公社)東京都医薬品登録販売者協会、(公社)東京薬事協会
(公社)東京生薬協会、
日本一般用医薬品連合会（日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会）
後 援 厚生労働省、東京都、千代田区、東京都医師会、東京都薬剤師会
協賛企業 OTC製薬企業など28社
参加者 池田副会長・落合副会長・横田専務理事・佐野・重田・花澤・宮田
新野・倉持各理事・池田大輔氏(会員)・大川事務局長
実施日 2023年10月6日（金） 11時から18時
7日（土） 10時から17時
場 所 神田明神(文化交流館 EDOCCO)
来 賓 武見敬三厚生労働大臣、小池百合子東京都知事、高橋正夫東京都薬剤師

会会長

来場者数 約4,000名

実施内容

目的 セルフメディケーションにおけるOTC医薬品の役割や、正しい知識・使い方などの普及啓発を図り、国民の保健衛生の維持向上に寄与すること。

【リアル開催】

- ①藤井実行委員長、千代田区長、東京都医師会会長の「今こそセルフメディケーション、さあ実践」と題したスペシャル対談
- ②薬剤師・登録販売者に相談しながら、OTC医薬品を上手に利用し、自らの判断でセルフメディケーションを行えるように、医薬品等のサンプルを配布・説明し、正しい薬の使い方等を周知。
- ③一般用医薬品販売制度の改正に伴う小売店の薬の陳列方法をイメージした模擬店舗の開設と専門家による薬の相談体制のシミュレーションの実施。
- ④一般用医薬品製薬企業等27社のブースによる一般用医薬品等の展示と正しい使い方、お薬検索等の啓発の実施。
- ⑤セルフメディケーションと家庭薬等各種啓発パンフレットの配布。
- ⑥危険ドラッグのポスター及びパンフレットの配布。
- ⑦健康チェックや懐かしのくすり展 ほか

【Web開催】

- ①藤井実行委員長、千代田区長、東京都医師会会長の「今こそセルフメディケーション、さあ実践」と題したスペシャル対談
- ② 薬剤師・登録販売者に相談しながら、OTC医薬品を上手に利用し、自らの判断でセルフメディケーションを行えるよう、セルフメディケーション、薬剤師・登録販売者の役割等を映像やクイズ形式で周知。
- ③ 一般用医薬品製薬企業等のプレゼント企画

訪問ユーザー数 動画視聴数 1,505名

アクセス数 31,081名

以後は専用チャンネル内でアーカイブ視聴可能

4 「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い

主催 東京都、厚生労働省、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会

共催 豊島区、警視庁

開催日 2023年6月25日(日)

場所 池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアター

実施内容 ステージでは、警視庁音楽隊による演奏をはじめ、警察犬(薬物捜索犬)のデモンストレーションや啓発動画の放映を行い、薬物乱用の恐ろしさ

について会場の参加者に訴えかけました。

また、展示会場では、中学生による薬物乱用防止ポスター・標語等のパネル展示や着ぐるみによる啓発活動を行い、多くの人に薬物乱用防止のメッセージを発信することができました。

参加者 後藤会長

5 麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会

主催 厚生労働省、東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会

開催日 2023年11月26日(日)

場所 東京都庁第一本庁舎5階 大会議場

目的 麻薬、覚醒剤、大麻、シンナー、危険ドラッグ等の（以下、「麻薬・覚醒剤等」という。）の薬物乱用は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、各種の犯罪の誘因など公共の福祉に計り知れない危害をもたらすものである。本運動は、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用による危害を広く都民に周知させ、都民一人ひとりの認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用の根絶を図ることを目的とする。

参加者 後藤会長、池田・落合両副会長、横田専務理事

V 機関紙の発行（定款第4条第5号）

1 機関紙の発行

会報「薬種」第278号～281号（4回発行）

会員、関係団体、都庁、保健所、医薬品メーカー、各都道府県協会及び希望者に対し、協会運営事項、官公署からの通知、薬事関係情報、学術関係記事その他を掲載した。

発行部数 約500部

VI その他本会の目的達成に必要な事項（定款第4条第6号）

VII 管理運営事項

1 定例会その他

(1) 通常総会

日時 2023年5月23日(火) 午後2時00分から午後2時50分

場所 北とぴあ 803会議室

以下の議案が承認された。

① 2022年度収支決算（案）

② 役員改選に伴う新役員

③ 基本財産の取り崩し

(2) 臨時総会

日 時 2024年1月23日（火）午後2時30分から午後2時45分

場 所 ホテルローズガーデン新宿 別館3階 桔梗

以下の議案が承認された。

① 行政庁の変更申請について

② 定款変更(案)について

(3) 理事会 7回開催

会務に関する事項を議決執行した。（会報の理事会報告参照）

第1回 2023年 4月15日（土） 赤羽会館 第7集会室

第2回 2023年 5月23日（火） 北とぴあ803会議室

第3回 2023年 8月 8日（火） 北とぴあ803会議室

第4回 2023年12月 3日（日） 新宿野村ビル朝霞刀削麺

第5回 理事会決議省略の方法により開催

第6回 2024年 1月23日（火） ホテルローズガーデン新宿別館3階

第7回 2024年 3月19日（火） 北とぴあ806会議室

(3) 三役会（会長・副会長・専務理事）

協会の運営事項について協議した。

2023年4月4日、5月9日、6月6日、7月4日、8月1日

9月5日、10月3日、11月7日、12月5日

2024年1月10日、2月7日、3月7日

(4) 東京都立入検査

なし

(5) 監事による、内部監査

「2022年度決算監査」

2023年 4月11日（火）

「2023年度中間監査」

2023年10月17日（火）

2 東京都予算に対する要望活動

「令和6年度東京都予算等に対する要望」を2023年9月5日（火）に都議会自由民主党に対し行った。

3 外部団体事業への後援

なし

4 その他

- (1) 協会賀詞交歓会を2024年1月23日(火)に、東京都議会議長 宇田川聡史様、自由民主党文京総支部長・前都議会議員 中屋文孝様、東京都保健医療局薬務課長 中島真弓様、東京都薬剤師会副会長 一瀬信介様、東京生薬協会会長 藤井隆太様、同会理事学術委員長 山内盛様、東京薬事協会副会長 金原徳典様、東京医薬品卸業協会 松井秀夫様、日本漢方協会名誉会長 今井淳様、東京都医薬品配置協会会長 室井邦春様、日本薬物対策協会世話役 馬崎奈央様、東京医科大学病院医療保健室兼任教授 葦沢龍人様、東京薬科大学元教授 渡辺謹三様、同大学薬学部准教授 成井浩二様、当協会顧問紺野秋田法律事務所弁護士 鳥羽浩司様、薬局随証薬室 渡辺方乃様、沖縄県医薬品登録販売者協会会長 親泊康行さま、ほか製薬メーカー、報道関係者等多数の参加を得てホテルローズガーデン新宿別館2階ローズルームで開催した。
- (2) 会員の各種表彰、慶弔等福利厚生関連事業を実施した。
- (3) 関係団体と常時情報交換を行い意志の疎通を図った。

◎各種表彰・慶弔

★表彰

☆薬事関係功労者知事感謝状

花澤 栄二(世田谷区)

☆永年従事者

佐藤 淳子(葛飾区)

高柳 勝英(江東区)

★慶弔

●物故者

(配偶者) 仁平 幸江(北区)

(配偶者) 杉浦 知子(江東区)

(本人) 高島 直樹(議員顧問)

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024年5月

公益社団法人 東京都医薬品登録販売者協会